

重点戦略5 DXで暮らしを豊かにする

●関連するSDGs



◆新型コロナウイルス感染症の影響により、社会のデジタル化は急速に進展し、本市の行政運営においても、デジタル技術を有効的に活用し、様々な課題を解決するなど、「市民本位のデジタルで快適・便利なまち」の実現を目指し、取り組んでいきます。

◆本市では、行政のデジタル化をより一層推進し、AIやICT等のデジタル技術の活用によりDXを実現し、市民の利便性向上を図ります。

■数値目標の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

数値目標	単位	現状値	各年度の実績値【DO】					目標値	達成度【CHECK】
			令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
行政手続の電子申請件数	件	10	460				300	◎	
数値目標の分析	令和5年度は285件であり、昨年度に引き続き増加傾向にあります。要因としては、デジタル庁が展開するマイナポータルを利用してマイナンバーカードを使った電子申請ができる「びったりサービス」の周知により、様々な行政手続が電子申請で行われたことで件数が増えたものと考えられます。今後も、行政のデジタル化を推進し、市民の利便性向上を図ります。								

施策の方向性1 DXによる市民サービスの利便性向上

■主な取組(事業)の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★(最大評価:★★★★)

主な取組(事業)の名称【PLAN】	事業費【DO】	評価【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】	方向性
(1)避難行動要支援者名簿・個別避難計画整備事業	451	★★★★	住宅地図システムを活用し、自宅から避難所までの経路を可視化した個別避難計画の作成に取り組んでいます。引き続き、地域支援者及び支援事業所と協力しながら、実態に即した個別避難計画の作成を推進していきます。	継続(現状維持)
(2)滞納整理事業・納税推進事業	14,936	★★★★	引き続き、財源の確保及び税負担の公平性を確保する観点から、差押え等の滞納処分を行う一方、納税猶予等の納税緩和措置を講じるなど、滞納者個々の実情に応じた適正な債権管理に努めます。また、オンライン行政サービスとして電子納税を活用し、DXの取組を推進します。	継続(現状維持)
(3)市民なんでも相談窓口事業	5	★★★	市ホームページや市広報誌等により周知を図り、市民が抱える困りごとの相談支援に引き続き取り組みますが、相談件数は月1件程度であるため、運営の合理化や開催頻度の見直しも視野に制度を再検討する必要がある。	継続(改善)
(4)コンビニ交付事業	4,803	★★★★	今後も市広報誌やホームページ・SNSに利便性を強調した記事を掲載したり、様々な公共施設で利用を促すポスター等を掲示することで広く市民へ周知します。また、市役所窓口へ証明書の交付に利用されたマイナンバーカード保有者や、マイナンバーカードを新規・更新などの交付手続きで来庁された方へも、コンビニ交付の手順を分かりやすく掲載した用紙を配布して利用を促し、更なる利用者拡大を推進します。	継続(現状維持)
(5)道路台帳管理事業	286	★★★★	令和6年度については、国土交通省から指定の優先度の高い路線の収録を実施しました。今後も、申請者の利用の多い路線または国土交通省から指定の優先度の高い路線の収録を進めることで、申請者の利便性向上へと繋げるとともに、照会件数の減少を目指します。	継続(現状維持)
(6)下水道情報システム構築事業	15,400	★★★★	令和6年度に下水道台帳のデジタル公開及び窓口用閲覧システムを導入しました。今後は下水道情報管理システムの導入に係るPRを断続的に行っていくとともに、下水道情報管理システムへ毎年施工された下水道施設のデータ更新を行っていきます。	継続(現状維持)
(7)SMSを活用した通知配信サービス事業	188	★★★★	詐欺メール対策として、定期的にホームページや広報に、市ではSMS(ショートメッセージサービス)を利用した「未納のお知らせメール」を送信している記事に掲載するなど、引き続き市民に周知するとともに、今後は、導入自治体同士で送信テンプレートの共有を行い、より効果的な「未納のお知らせメール」の改善に努めます。	継続(現状維持)
(8)給食・栄養計算献立支援管理システム導入事業	344	★★★★	給食管理システムを活用しながら、引き続き公立保育所と連絡を密にし、栄養相談・指導に繋がっていきます。外国人保護者には、デジタル配信と紙面配布どちらも行っているため、デジタル配信のみで対応できるようサポートと支援を行えるか保育士と協議していきます。また、保護者によるアレルギーチェックの確認・返信にかかる時間をより短縮できるよう、保育所とともに状況の把握と改善に努めていきます。	継続(現状維持)

■重要業績評価指標(KPI)の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値	各年度の実績値【DO】					目標値	達成度【CHECK】
			令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
(1)住宅地図とリンクした個別避難計画策定数	件	0	4				15	○	
(2)市税収納率	%	95.8	96				96.4	○	
(3)市民なんでも相談窓口相談件数	件	—	17				100	△	
(4)証明書コンビニ交付件数	件	—	5,365				7,500	◎	
(5)特殊車両通行許可申請に関する道路情報照会件数	件	436	339				100	○	
(6)下水道台帳のアクセス件数	件	0	0				1,000	○	

(7)催告書の発送件数	件	2,000	1,752					1,200	○
(8)保護者による食物アレルギーのチェック表作成数	枚	960	354					20	○

### ■施策の方向性1の今後の進め方

#### この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】

令和6年度は、国の交付金を活用し、多くの行政サービスのデジタル化を実施しました。特にマイナンバーカードを活用した証明書のコンビニ交付については、多くの利用があり、一定の効果があったといえます。とはいえ、まだ市役所まで来ないと発行できないと思っている市民も多いことから、更なる周知が必要と考えます。その他の事業についても、オンライン手続きや配信等に伴い、市民の利便性向上が図られています。更なる市民サービス向上を目指し、本市の実情に即したデジタル化を進めていけるよう各セクションにおいて取り組んでいきます。

### 施策の方向性2 デジタル化による行政運営の効率化

#### ■主な取組(事業)の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★(最大評価:★★★★)

主な取組(事業)の名称 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(1)業務改善運動事業	22	★★★	業務改善提案について取組を再開することはできませんでしたが、令和7年度からの再開に向けて職員の意識を醸成するための研修会を開催するとともに、新たな業務改善提案制度の構築に向けた検討を進めました。令和7年度から、行財政アドバイザーの委嘱とともに若手・中堅職員の政策提案能力の育成を行い、職員の政策提案機会の創出や、誰もが気軽に「気づき」を共有できるような業務改善提案制度の実施を目指します。	継続 (改善)
(2)職員研修事業	972	★★★	階級別で受講必須としている研修科目の見直しや受講科目を選択性にするなど、多様な手段による研修受講体制を整えていきます。	継続 (改善)
(3)情報セキュリティ研修事業	0	★★★★	引き続き各種研修を計画し、職員の個人情報に対する意識向上を図ります。	継続 (現状維持)

#### ■重要業績評価指標(KPI)の達成度

【達成度】◎:目標値超過を見込む、○:目標値同等を見込む、△:目標値は達成困難、—:把握が困難

重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値	各年度の実績値【DO】					目標値	達成度 【CHECK】
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和10年度	
(1)業務改善提案件数	件	0	0					25	△
(2)職場外研修(専門研修)受講者数	人	52	70					110	△
(3)情報セキュリティに関する職員の研修受講者数	人	16	45					200	○

### ■施策の方向性2の今後の進め方

#### この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】

デジタル技術を活用した業務効率化は進んでいます。職員でなくとも対応可能なノンコア業務への負荷を、デジタル化等により軽減することが重要と考えられることから、まずは職員一人ひとりがデジタル技術を適切に活用できるよう、研修等により育成を図っていきます。また、令和7年度から業務改善提案を実施すること等により、職員の意識改革を促していきます。